

2020年11月期（第51期）

決算説明補足資料

株式会社ティムコ

2021年1月号 ①

2021年1月19日版

も く じ

・ 比 較 貸 借 対 照 表	1
・ 比 較 損 益 計 算 書	2
・ 売 上 高 の 内 訳	3
・ 業 績 推 移 と 次 期 予 想	5
・ 市 場 の 動 向 に つ い て	7
（ ・ アウトドア関連市場の動向 ・ 釣用品市場の動向	

会 社 名	株 式 会 社 テ ィ ム コ
JASDAQ上場	1996年（平成8年）6月18日
証券コード	7 5 0 1
U R L	http://www.tiemco.co.jp

注）当資料は予告なく改訂する場合があります

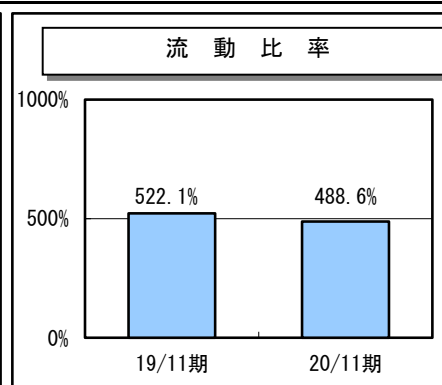
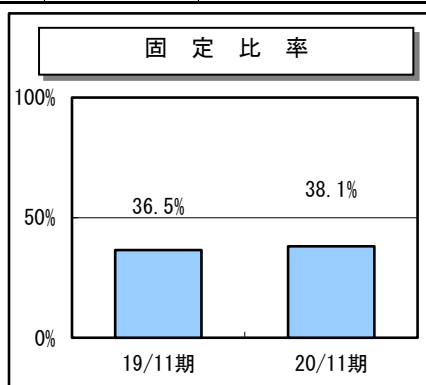
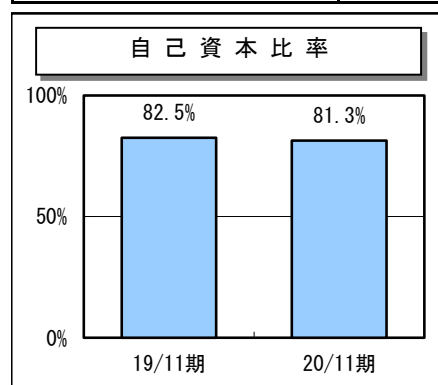
当資料に関するお問い合わせ

株式会社ティムコ 社長室
東京都墨田区菊川3-1-11 〒130-8555
TEL(03)5600-0122 FAX(03)5600-0302

比較貸借対照表

(単位：千円)

勘定科目	第50期 2019年11月30日 現在	第51期 2020年11月30日 現在	増減	備考
資産の部				
現金・預金	2,008,651	1,621,515	-387,135	新型コロナウイルスによる売上減に伴う収入減。
受取手形及び売掛金	564,497	595,458	30,961	
商品の	1,429,863	1,551,546	121,682	業績低迷による在庫回転の低下により増加。
その他	46,677	65,734	19,057	未収消費税還付金等による増加。
貸倒引当金	-2,097	-1,086	1,011	
流動資産合計	4,047,592	3,833,169	-214,422	
建物	530,838	488,856	-41,982	減価償却の実施による減少。
土地	653,376	653,376	-	
その他	10,584	28,997	18,413	各種金型、工具器具等購入による増加。
有形固定資産合計	1,194,799	1,171,230	-23,568	
無形固定資産合計	11,686	31,134	19,448	コンピュータ・ソフトウェア等リース資産購入による増加。
投資その他の資産合計	536,758	519,480	-17,278	
固定資産合計	1,743,244	1,721,845	-21,398	
資産合計	5,790,836	5,555,015	-235,821	
負債の部				
支払手形・買掛金	571,391	588,888	17,496	
未払金	53,349	69,280	15,930	空調設備交換工事発生等による増加。
未払費用	47,375	40,186	-7,188	
返品調整引当金	41,615	33,927	-7,687	
その他	61,455	52,217	-9,237	
流動負債合計	775,187	784,500	9,313	
長期未払金	51,621	39,235	-12,385	
退職給付引当金	152,149	159,640	7,490	在職者の1年間の引当金増加。
その他固定負債	34,954	53,562	18,608	1年を超えるリース債務や直営店資産除去債務の増加。
固定負債合計	238,724	252,437	13,712	
負債合計	1,013,912	1,036,938	23,026	
純資産の部				
資本金	1,079,998	1,079,998	-	
資本剰余金	3,861,448	3,861,448	-	
利益剰余金	298,246	39,551	-258,695	
自己株式	-478,034	-478,060	-25	
株主資本合計	4,761,659	4,502,938	-258,721	
評価・換算差額等合計	15,265	15,138	-126	
純資産合計	4,776,924	4,518,077	-258,847	
負債純資産合計	5,790,836	5,555,015	-235,821	
自己資本比率	82.5%	81.3%	純資産合計 ÷ 資産合計 × 100(%)	
固定比率	36.5%	38.1%	固定資産 ÷ 純資産合計 × 100(%)	
流動比率	522.1%	488.6%	流動資産 ÷ 流動負債 × 100(%)	

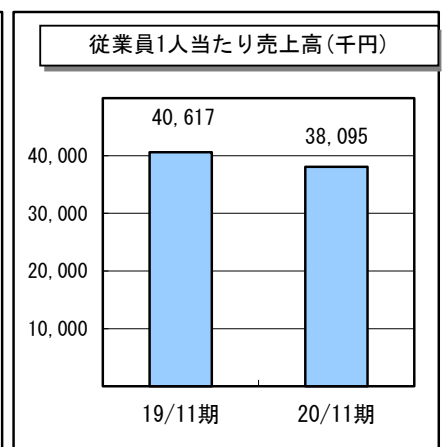
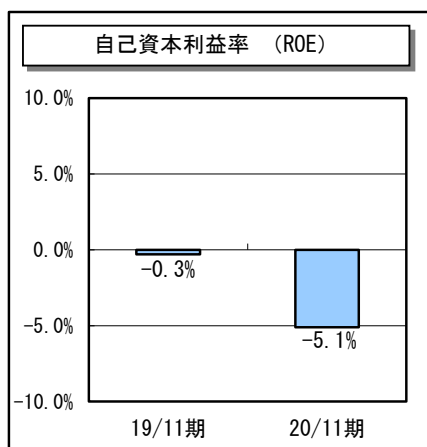
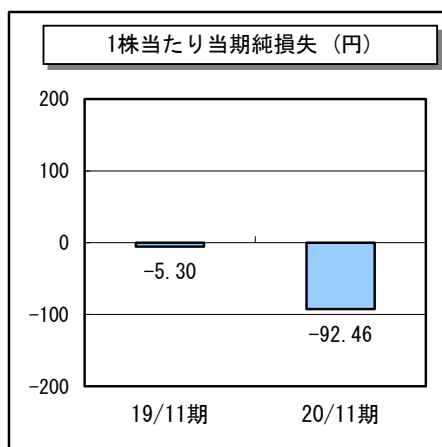


比較損益計算書



(単位：千円)

勘定科目	第50期 2019年11月30日		第51期 2020年11月30日		増 減		備 考
	金 額	百分比	金 額	百分比			
売 上 高	2,924,481	100.0%	2,666,659	100.0%	-257,822	-8.8%	当事業年度においては、新型コロナウイルス感染急拡大に伴う緊急事態宣言発出等の影響により景況感が大幅に悪化し、特に休業要請対象の百貨店、大型小売店舗、飲食店等の売上が大きく落ち込みました。6月以降は社会経済活動の回復や定額給付金等生活の下支と共に持ち直しの動きも見られました。 当社の関連するアウトドア関連産業は、釣用品市場で6月以降に回復が見られた一方、アウトドア衣料品市場では、商業施設の休業や需要低迷の影響が色濃く残りました。当社では、収益低下対応策等の実施により、6月以降に業績回復が見られたものの、第2四半期までの休業や活動自粛による業績低下を補うに至らず、売上高は2,666百万円(前年同期比8.8%減)となりました。 利益面では、経費削減のほか自粛により活動経費が減少したものの、売上高及び売上総利益減少の影響が大きく、営業損失は134百万円、経常損失は127百万円となりました。また、休業に対して受給した雇用調整助成金16百万円を特別利益に計上した一方、直営店舗の臨時休業等による損失39百万円及び業績見通し等を勘案した結果、直営店舗造作など固定資産の減損損失57百万円を特別損失に計上いたしました。これらにより当期純損失は228百万円となりました。
売 上 原 価	1,596,772	54.6%	1,503,901	56.4%	-92,870	-5.8%	
売 上 総 利 益	1,327,708	45.4%	1,162,757	43.6%	-164,951	-12.4%	
返品調整引当金戻入額	32,533	1.1%	41,615	1.6%	9,081	27.9%	
返品調整引当金繰入額	41,615	1.4%	33,927	1.3%	-7,687	-18.5%	
差引売上総利益	1,318,627	45.1%	1,170,444	43.9%	-148,182	-11.2%	
販売費及び一般管理費	1,323,570	45.3%	1,304,943	48.9%	-18,626	-1.4%	
営業利益又は損失	-4,942	-0.2%	-134,499	-5.0%	-129,556	2621.3%	
受 取 利 息	199	0.0%	124	0.0%	-75	-37.8%	
有 価 証 券 利 息	1,535	0.1%	1,770	0.1%	234	15.3%	
受 取 配 当 金	1,111	0.0%	1,255	0.0%	144	13.0%	当期純利益÷期中平均株式数
為 替 差 益	2,448	0.1%	1,013	0.0%	-1,435	-58.6%	
その他営業外収益	1,397	0.0%	3,253	0.1%	1,855	132.7%	
営業外収益	6,692	0.2%	7,416	0.3%	723	10.8%	
その他営業外費用	6	0.0%	316	0.0%	310	5172.1%	
営業外費用	6	0.0%	316	0.0%	310	5172.1%	
経常利益又は損失	1,744	0.1%	-127,399	-4.8%	-129,143	-7404.4%	
特 別 利 益	—	—	16,173	0.6%	16,173	—	
特 別 損 失	0	0.0%	101,044	3.8%	101,044	—	
税引前当期純利益又は損失	1,744	0.1%	-212,271	-8.0%	-214,015	-12270.6%	
法人税、住民税及び事業税	15,448	0.5%	14,157	0.5%	-1,290	-8.4%	純資産÷発行済株式総数(除自己株式)
過 年 度 法 人 税 等	2,954	0.1%	—	—	-2,954	—	
法 人 税 等 調 整 額	-3,536	-0.1%	2,548	0.1%	6,085	—	
当 期 純 損 失	-13,122	—	-228,976	-8.6%	-215,854	1645.0%	
純 資 産 合 計	4,776,924 千円		4,518,077 千円		-215,854 千円		
発 行 済 株 式 総 数	3,339,995 株		3,339,995 株		— 株		
発行済株式総数(除自己株式)	2,476,550 株		2,476,514 株		-36 株		
期 中 平 均 株 式 数	2,476,550 株		2,476,535 株		-15 株		
1株当たり当期純利益又は純損失	-5.30 円		-92.46 円		-87.16 円		
1 株 当 た り 純 資 産	1,928.86 円		1,824.37 円		-104.49 円		
自己資本利益率 (ROE)	-0.3 %		-5.1 %		-4.8 point		当期純利益÷期末の自己資本
当 期 末 従 業 員 数	72 人		70 人		-2 人		期中平均人員
(役員及び臨時従業者を含む)	(182) 人		(194) 人		(12) 人		
従業員1人当たり売上高	40,617 千円		38,095 千円		-2,522 千円		売上高÷期末従業員数
減 価 償 却 費	65,720	2.2%	68,575	2.6%	2,855	4.3%	



売 上 高 の 内 訳



■ 事業セグメント別売上高

(単位：千円) < 解 説 >

セグメント	2019/11期		2020/11期		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
(フィッシング事業)						
ルアー用品	248,843	8.5%	258,952	9.7%	10,109	4.1%
フライ用品	457,846	15.7%	521,431	19.6%	63,584	13.9%
その他フィッシング用品	117,804	4.0%	110,963	4.2%	-6,840	-5.8%
計	824,494	28.2%	891,347	33.5%	66,853	8.1%
(アウトドア事業)						
アウトドア衣料	1,788,790	61.2%	1,526,198	57.1%	-262,591	-14.7%
その他アウトドア用品	283,460	9.7%	222,728	8.4%	-60,731	-21.4%
計	2,072,250	70.9%	1,748,927	65.5%	-323,323	-15.6%
そ の 他	27,736	0.9%	26,383	1.0%	-1,352	-4.9%
合 計	2,924,481	100.0%	2,666,659	100.0%	-257,822	-8.8%

■フィッシング事業
主に第2四半期(3-5月)に新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動低下により大幅な販売低迷となった一方、6月以降、屋外活動の活発化により販売が急伸し、通期の売上高は891百万円(前期比8.1%増)、セグメント利益は131百万円(前期比50.0%増)となりました。

■アウトドア事業
緊急事態宣言中の主要店休業のほか、登山客減少等の影響も加わり、主に第2四半期(3-5月)の販売が大幅減少しました。6月以降活動再開により回復が見られた一方、都市部の店舗を中心に回復が鈍く、通期の売上高は1,748百万円(前年同期比15.6%減)、セグメント損失は36百万円となりました。

■ 販売経路別売上高

(単位：千円)

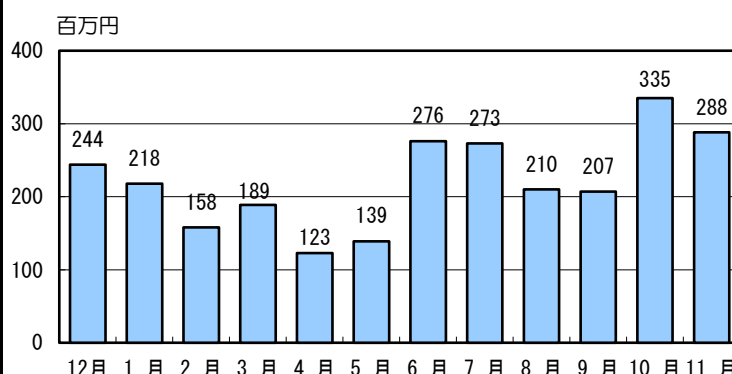
販 売 経 路		2019/11期		2020/11期		前年同期比	
		金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率
国 内	当社 → 卸売店 → 小売店 → 消費者	298,577	10.2%	329,992	12.3%	31,415	10.5%
	当社 → 小売店 → 消費者	2,417,395	82.7%	2,087,125	78.3%	-330,269	-13.7%
	その他	50,061	1.7%	92,394	3.5%	42,333	84.6%
	国 内 小 計	2,766,033	94.6%	2,509,513	94.1%	-256,520	-9.3%
輸 出		130,711	4.5%	130,761	4.9%	50	0.0%
その他(不動産賃貸収入)		27,736	0.9%	26,383	1.0%	-1,352	-4.9%
合 計		2,924,481	100.0%	2,666,659	100.0%	-257,822	-8.8%

※) フォックスファイヤーストア等の販売店は、「当社→小売店→消費者」に含まれます。

■ 月 別 売 上 高

(単位:千円)

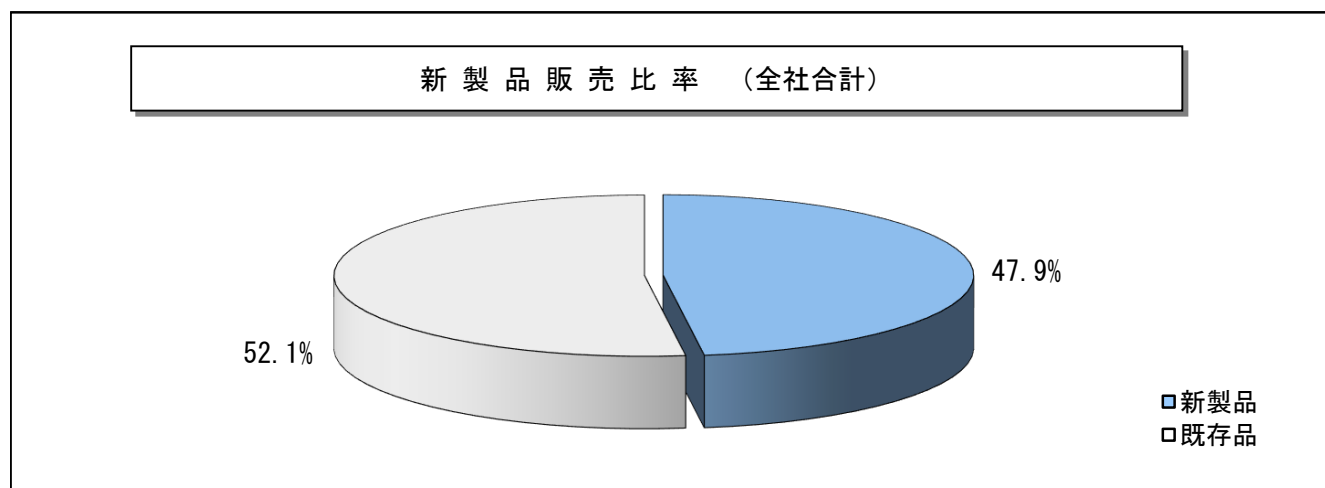
	売 上 高	構 成 比	前年同月比
12月	244,352	9.2%	-11.6%
1月	218,950	8.2%	-9.2%
2月	158,735	6.0%	-4.7%
3月	189,262	7.1%	-16.7%
4月	123,723	4.6%	-59.5%
5月	139,805	5.2%	-54.2%
6月	276,373	10.4%	21.1%
7月	273,291	10.2%	22.0%
8月	210,243	7.9%	11.5%
9月	207,993	7.8%	-27.7%
10月	335,910	12.6%	60.0%
11月	288,015	10.8%	9.0%



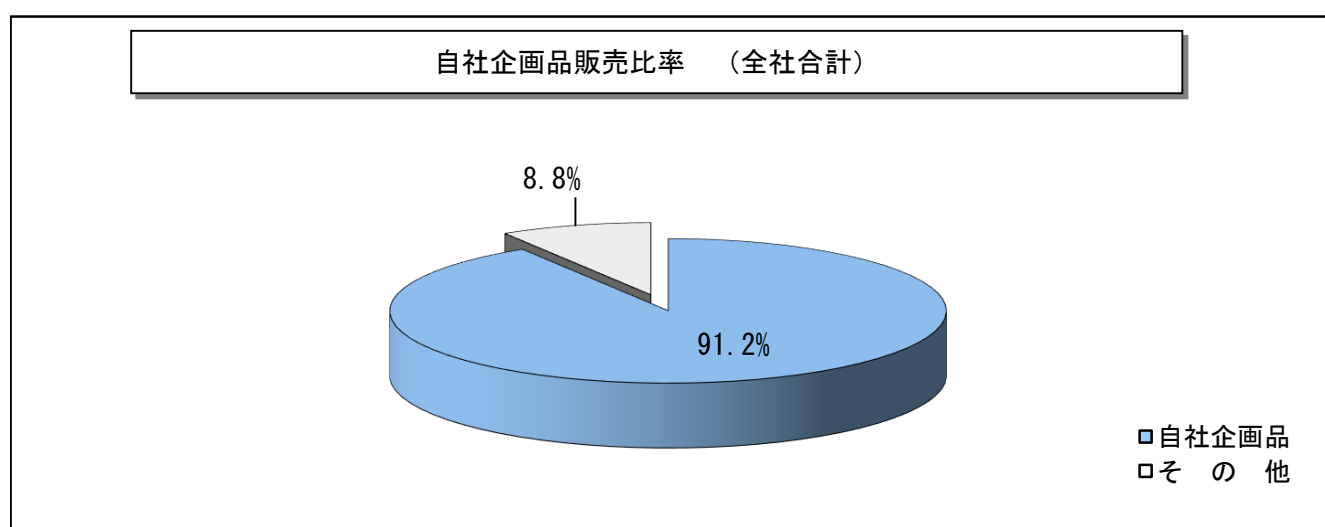
< 解 説 >

期初の暖冬による衣料品の販売低迷に加えて3月下旬より新型コロナウイルス感染拡大による店舗の時短営業等が始まり、4月の緊急事態宣言以降は休業や営業活動停止により売上高は大幅に減少しました。一方、6月以降は密を避けられる釣りの需要が高まりフィッシング事業は好調に推移し、アウトドア事業は春開店の新店増分の実績も加わり前年を上回りました。9月は前年同月の消費増税前の駆け込み需要の反動、また9-10月の増減は主要販売先の取引内容変更等も影響しています。

■ 新製品販売比率（2020年11月 通期）



■ 自社企画品販売比率（2020年11月 通期）



■ 輸 出 の 状 況

（単位：千円）

	19/11期	20/11期
売 上 高	2,924,481	2,666,659
輸出金額	130,711	130,761
輸出比率	4.5%	4.9%
輸出シェア	ス リ ラ ン カ 19.0%	ス リ ラ ン カ 30.3%
	中 国 14.3%	ア メ リ カ 15.8%
	ア メ リ カ 11.2%	ス ウ ェ ー デ ン 5.8%
	韓 国 7.1%	タ イ 5.5%
	オーストラリア 4.9%	韓 国 5.4%
	タ イ 4.8%	フ ラ ン ス 4.8%
	そ の 他 38.7%	そ の 他 32.4%

■ 輸 入 の 状 況

（単位：千円）

	19/11期	20/11期
仕入金額	1,634,924	1,628,121
輸入金額	163,726	191,885
輸入比率	10.0%	11.8%
輸入シェア	ア メ リ カ 58.7%	ア メ リ カ 54.0%
	中 国 19.6%	中 国 17.3%
	韓 国 12.7%	韓 国 15.3%
	ス ウ ェ ー デ ン 4.8%	ス ウ ェ ー デ ン 7.4%
	カ ナ ダ 1.5%	カ ナ ダ 1.7%
	パ キ ス タ ン 0.9%	パ キ ス タ ン 1.4%
	そ の 他 1.8%	そ の 他 2.9%

< 解 説 >

20/11期はフライ用品の対米及び対スリランカの輸出が回復した一方、新型コロナウイルスの感染拡大により中国への輸出が滞りました。輸入は、売筋商品を中心に仕入を強化したため、前期に比べて増加しました。

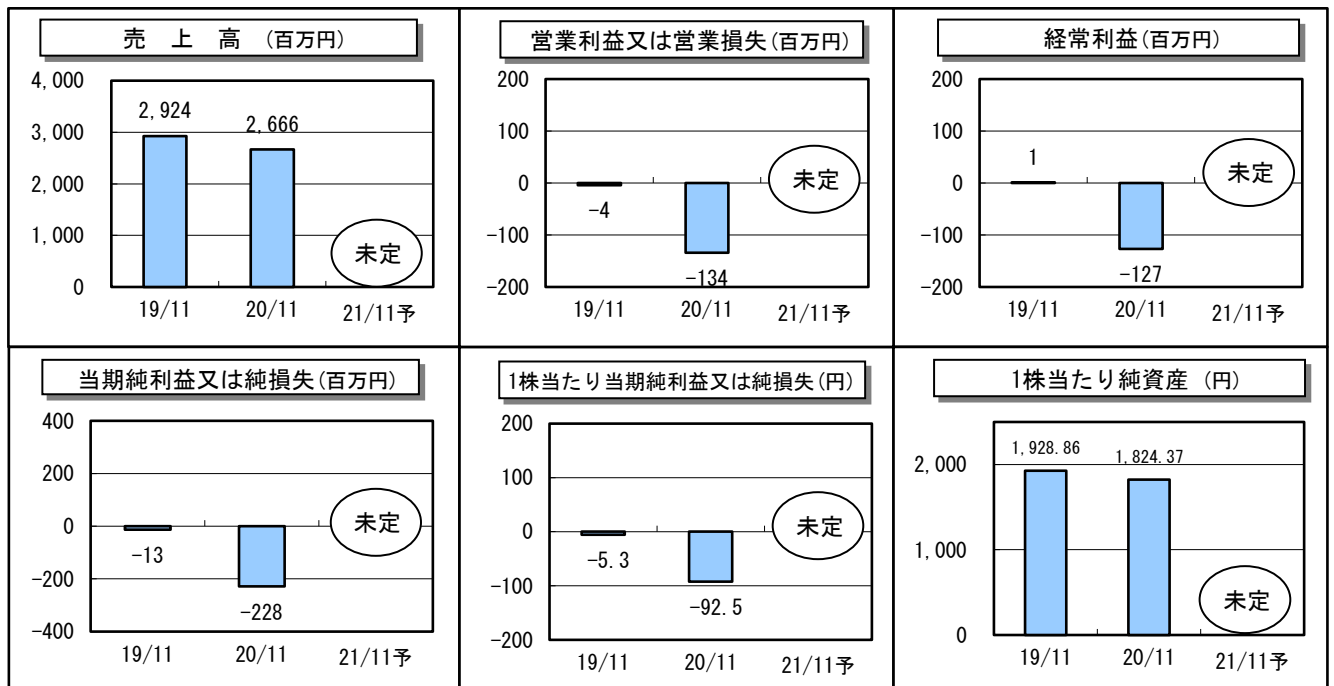
※輸入金額については、外国法人との直接取引金額を表示しています。

業績推移と次期予想 ①



(単位: 千円)

	第50期 (19/11期)		第51期 (20/11期)		前期比	第52期 (21/11期) 予想		
	金額	百分比	金額	百分比		金額	百分比	前期比
売上高	2,924,481	100.0%	2,666,659	100.0%	-8.8%	-	-	-
売上原価	1,596,772	54.6%	1,503,901	56.4%	-5.8%	-	-	-
売上総利益	1,327,708	45.4%	1,162,757	43.6%	-12.4%	-	-	-
返品調整引当金戻入額	32,533	1.1%	41,615	1.6%	27.9%	-	-	-
返品調整引当金繰入額	41,615	1.4%	33,927	1.3%	-18.5%	-	-	-
差引売上総利益	1,318,627	45.1%	1,170,444	43.9%	-11.2%	-	-	-
販売費及び一般管理費	1,323,570	45.3%	1,304,943	48.9%	-1.4%	-	-	-
営業利益又は営業損失	-4,942	-0.2%	-134,499	-5.0%	2621.5%	未定		
営業外収益	6,692	0.2%	7,416	0.3%	10.8%			
営業外費用	6	0.0%	316	0.0%	5166.7%			
経常利益	1,744	0.1%	-127,399	-4.8%	-7405.0%			
特別利益	0	0.0%	16,173	0.6%	-			
特別損失	0	0.0%	101,044	3.8%	-	-	-	-
税引前当期純利益	1,744	0.1%	-212,271	-8.0%	-12271.5%	-	-	-
当期純利益又は純損失	-13,122	-0.4%	-228,976	-8.6%	1645.0%	-	-	-
純資産	4,776,924 千円		4,518,077 千円		-	- 千円		-
発行済株式総数	3,339,995 株		3,339,995 株		-	- 株		-
自己株式数	863,445 株		863,481 株		-	- 株		-
期末株式数	2,476,550 株		2,476,514 株		-	- 株		-
期中平均株式数	2,476,550 株		2,476,535 株		-	- 株		-
1株当たり当期純利益又は純損失	-5.30 円		-92.46 円		-	- 円		-
1株当たり純資産	1,928.86 円		1,824.37 円		-	- 円		-
1株当たり配当金	12.00 円		5.40 円		予想	- 円		-
当期末従業員数	72 人		70 人		-	- 人		-
従業員1人当たり売上高	40,617 千円		38,095 千円		-	- 千円		-
減価償却費	65,720 千円		68,575 千円		-	- 千円		-
設備投資額	24 百万円		111 百万円		-	- 百万円		-



<解説>

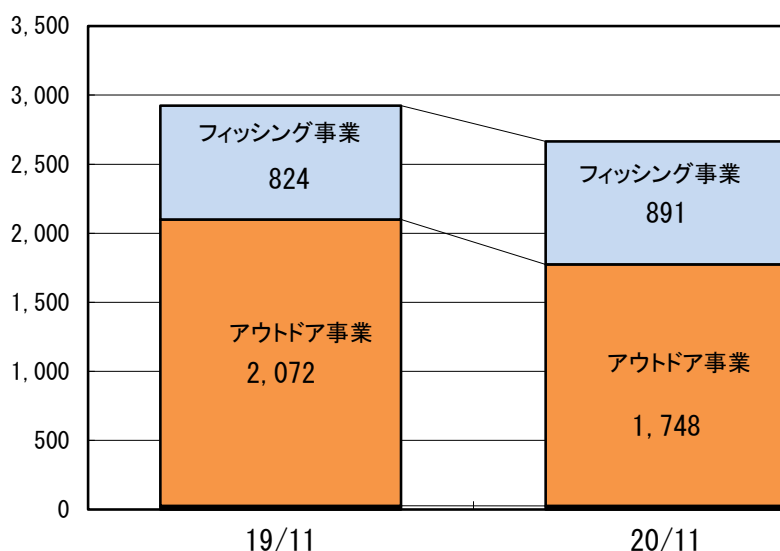
2021年11月期の予想については、新型コロナウイルス感染症に係る政府による第2回目の緊急事態宣言が2021年1月初旬より発出されたのに伴い、不要不急の外出の自粛、時間短縮営業の実施等により消費マインドが急速に冷え込んでおります。特に、当社においては主要販売先の集中する都市部を中心とした冷え込みが顕著であり、この状況下においては、業績に与える影響が不透明かつ合理的な業績予想の算定が困難なため、業績予想を未定としております。なお、今後の動向を見極めながら、業績の見通しが可能な段階において速やかに業績予想を開示いたします。

■ 事業セグメント別売上高

(単位：千円)

セグメント	第50期 (19/11期)			第51期 (20/11期)			第52期 (21/11期) 予想		
	売上高	百分比	前期比	売上高	百分比	前期比	売上高	百分比	前期比
フィッシング事業	824,494	28.2%	2.1%	891,347	33.4%	8.1%	未定		
アウトドア事業	2,072,250	70.9%	4.9%	1,748,927	65.6%	-15.6%			
その他	27,736	0.9%	0.2%	26,383	1.0%	-4.9%			
全社合計	2,924,481	100.0%	4.0%	2,666,659	100.0%	-8.8%			

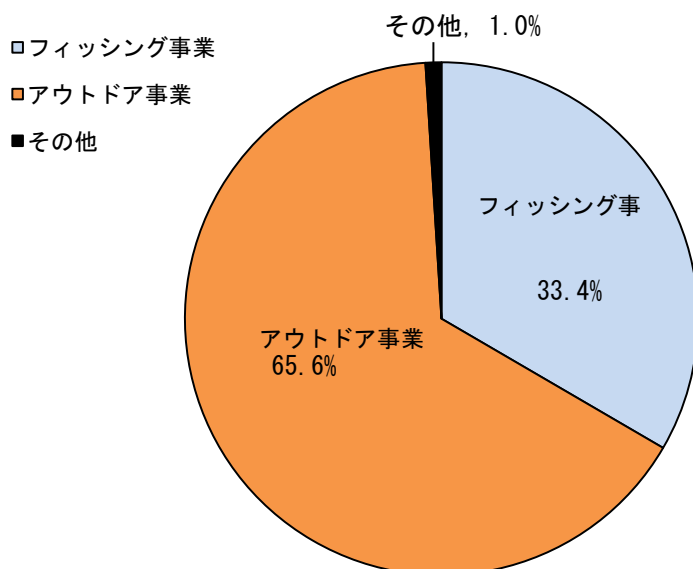
事業別の売上高推移 (単位：百万円)



<業績予想について>

新型コロナウイルス感染症に係る政府による第2回目の緊急事態宣言が2021年1月初旬より発出されたのに伴い、不要不急の外出の自粛、時間短縮営業の実施等により消費マインドが急速に冷え込んでおります。特に、当社においては主要販売先の集中する都市部を中心とした冷え込みが顕著であり、この状況下においては、業績に与える影響が不透明かつ合理的な業績予想の算定が困難なため、業績予想を未定としております。なお、今後の動向を見極めながら、業績の見通しが可能な段階において速やかに業績予想を開示いたします。

事業別の売上高構成 (20/11)



<解説>

新型コロナウイルスの影響が続くと予想されるため、引き続きインターネットによる宣伝・販売促進や通信販売に注力するほか、売れ筋商品の販売強化に取り組みます。フィッシング事業は、釣り需要の拡大に伴い、釣り人口の裾野拡大に寄与しながら販売強化に取り組んでまいります。アウトドア事業は「フォックスファイヤー」の商品力強化とともに直営店舗の収益性向上に努めてまいります。なお、グラフは業績予想が未定のため、2020年11月期 (20/11) の実績値を用いています。

アウトドア関連市場の動向

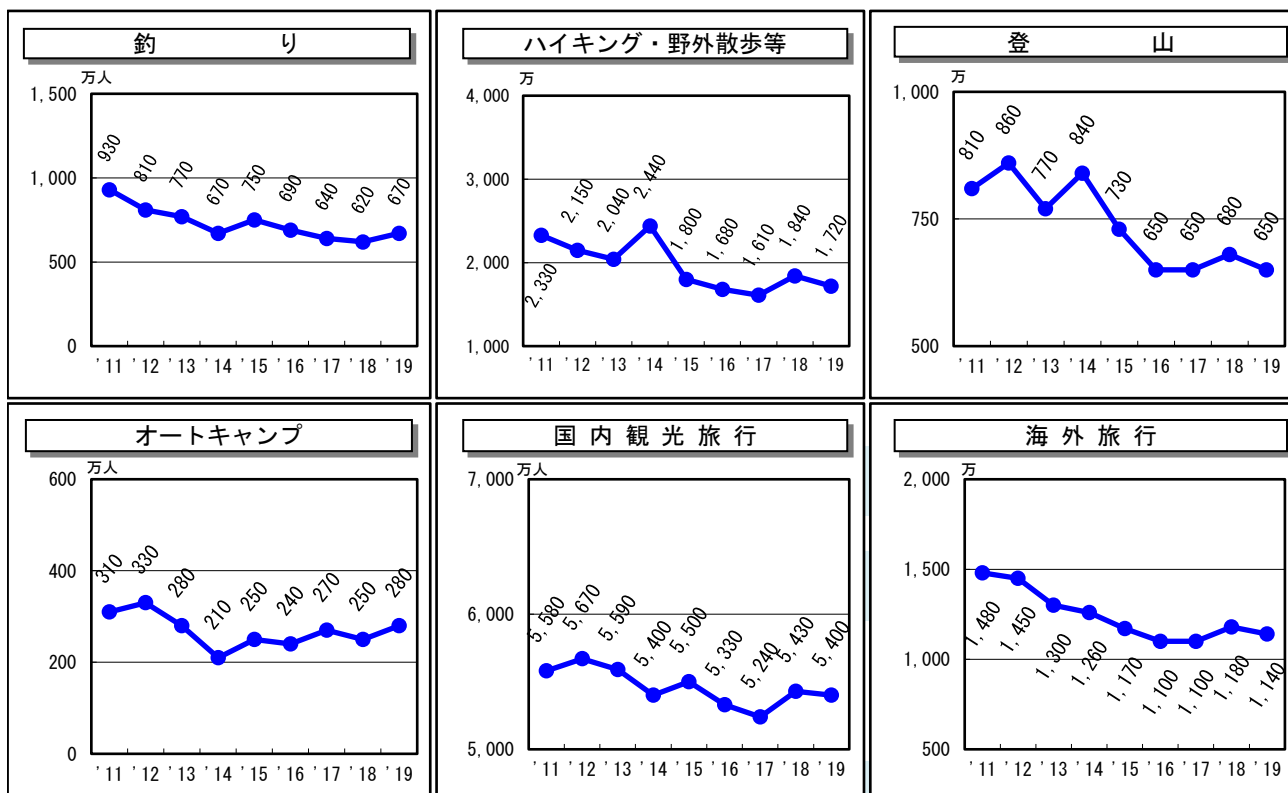


● 参加人口の推移

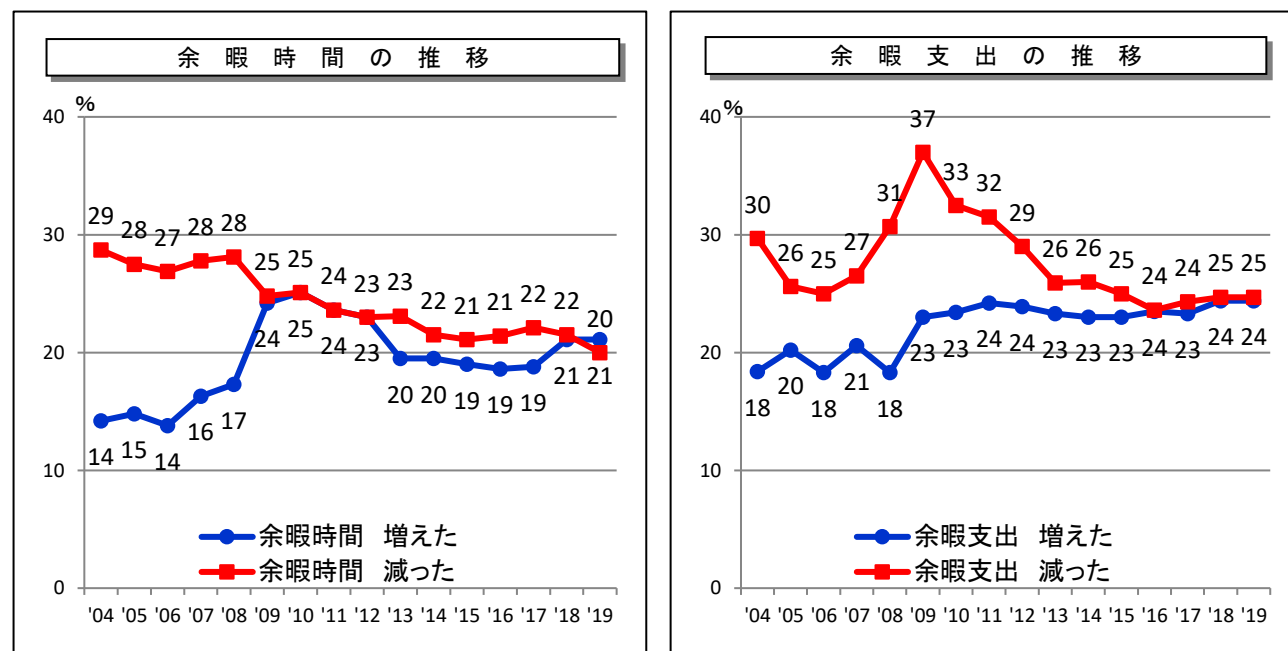
(単位：万人)

ジャンル	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
釣り(含ルアー・フライ以外)	930	810	770	670	750	690	640	620	670
ハイキング・野外散歩等	2,330	2,150	2,040	2,440	1,800	1,680	1,610	1,840	1,720
登山	810	860	770	840	730	650	650	680	650
オートキャンプ	310	330	280	210	250	240	270	250	280
国内観光旅行	5,580	5,670	5,590	5,400	5,500	5,330	5,240	5,430	5,400
海外旅行	1,480	1,450	1,300	1,260	1,170	1,100	1,100	1,180	1,140

出典「レジャー白書2020」公益財団法人 日本生産性本部 2020年9月



● 余暇関連指標の推移



出典「2020 レジャー白書」公益財団法人 日本生産性本部

出典「2020 レジャー白書」公益財団法人 日本生産性本部

釣用品市場の動向



● 釣用品市場規模の推移

(単位：百万円)

国内出荷市場					小 売 市 場				出荷/小売
年 度	金 額 (A)	前 年 比		指 標 ※	金 額 (B)	前 年 比		指 標 ※	A/B
2009年	125,430	-1.3%	-1,650	100.0	191,550	-0.9%	-1,660	100.0	65.5%
2010年	120,240	-4.1%	-5,190	95.9	182,710	-4.6%	-8,840	95.4	65.8%
2011年	112,690	-6.3%	-7,550	89.8	170,100	-6.9%	-12,610	88.8	66.2%
2012年	116,430	3.3%	3,740	92.8	175,430	3.1%	5,330	91.6	66.4%
2013年	122,250	5.0%	5,820	97.5	183,740	4.7%	8,310	95.9	66.5%
2014年	124,990	2.2%	2,740	99.6	187,510	2.1%	3,770	97.9	66.7%
2015年	128,730	3.0%	3,740	102.6	193,010	2.9%	5,500	100.8	66.7%
2016年	133,200	3.5%	4,470	106.2	199,380	3.3%	6,370	104.1	66.8%
2017年	136,500	2.5%	3,300	108.8	204,260	2.4%	4,880	106.6	66.8%
2018年	139,180	2.0%	2,680	111.0	207,600	1.6%	3,340	108.4	67.0%
2019(見込)	139,750	0.4%	570	111.4	208,230	0.3%	630	108.7	67.1%
2020(予測)	143,690	2.8%	3,940	114.6	213,970	2.8%	5,740	111.7	67.2%

出典：「第23回 釣用品の国内需要動向調査報告書」一般社団法人 日本釣用品工業会 2020年1月

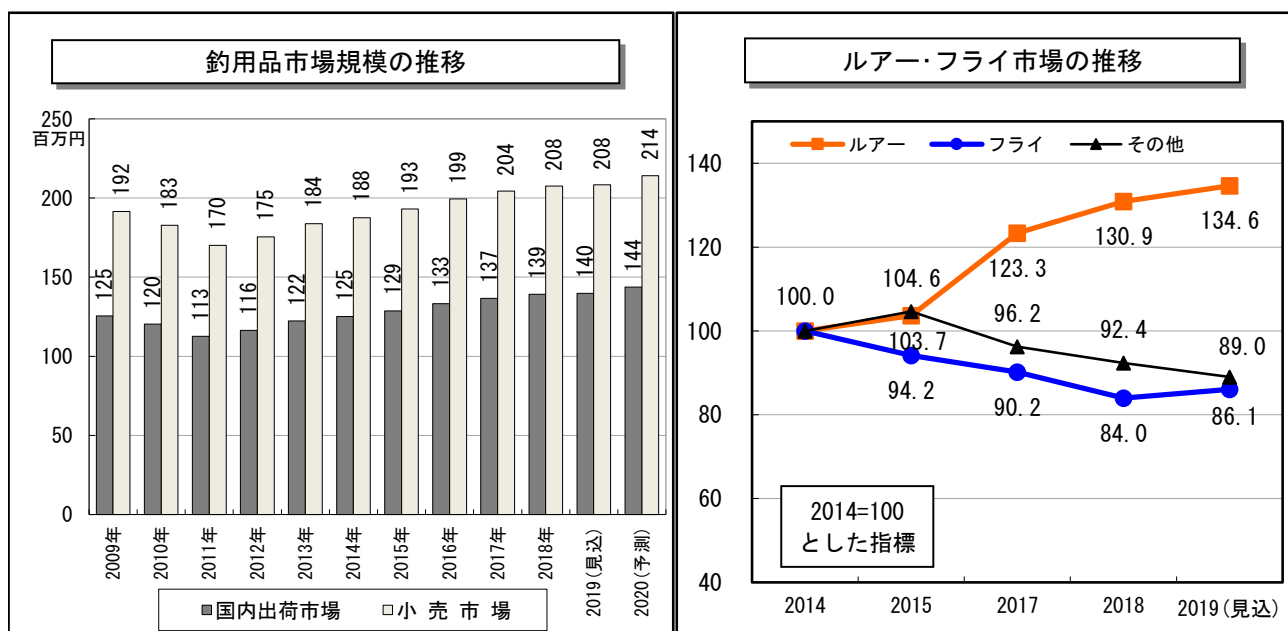
※指標は2009年を100とした場合の増減を表示しております。

● 釣種別国内出荷市場の推移

(単位：百万円)

釣 種	2017		2018			2019(見込)		
	金 額	構成比	金 額	構成比	前年比	金 額	構成比	前年比
ルアーフィッシング	79,930	58.5%	84,847	61.0%	6.2%	87,272	62.4%	2.9%
フライフィッシング	1,930	1.4%	1,797	1.3%	-6.9%	1,842	1.3%	2.5%
ルアー・フライ小計	81,860	59.9%	86,644	62.3%	5.8%	89,114	63.8%	2.9%
投 げ 釣 り	4,362	3.2%	4,041	2.9%	-7.4%	3,918	2.8%	-3.0%
磯・波止め釣り	21,255	15.6%	20,415	14.7%	-4.0%	19,885	14.2%	-2.6%
船 釣 り	16,094	11.8%	16,306	11.7%	1.3%	16,680	11.9%	2.3%
渓 流 釣 り	2,187	1.6%	1,936	1.4%	-11.5%	1,772	1.3%	-8.5%
ア ユ 釣 り	5,141	3.8%	4,648	3.3%	-9.6%	4,104	2.9%	-11.7%
ヘ ラ ブ ナ 釣 り	4,831	3.5%	4,390	3.2%	-9.1%	3,568	2.6%	-18.7%
そ の 他	860	0.6%	800	0.6%	-7.0%	709	0.5%	-11.4%
合 計	136,590	100.0%	139,180	100.0%	1.9%	139,750	100.0%	0.4%

出典：「第23回 釣用品の国内需要動向調査報告書」一般社団法人 日本釣用品工業会 2020年1月



■ アウトドア用品市場

(単位：百万円)

分 類	2017	2018		2019見込		2020予測	
	出荷額	出荷額	前年比	出荷額	前年比	出荷額	前年比
※アウトドアウェア	105,380	122,250	16.0%	130,420	6.7%	136,550	4.7%
※アウトドアシューズ	32,790	34,350	4.8%	35,400	3.1%	35,840	1.2%
※ザック類	25,360	26,270	3.6%	27,500	4.7%	28,820	4.8%
テント・タープ類	13,990	16,090	15.0%	17,040	5.9%	17,750	4.2%
シュラフ	5,790	6,720	16.1%	7,160	6.5%	7,430	3.8%
調理器具・食器類	6,850	7,210	5.3%	7,570	5.0%	7,800	3.0%
テーブル・チェア	10,120	12,210	20.7%	12,820	5.0%	13,130	2.4%
クーラー・ジャグ類	5,190	6,090	17.3%	6,350	4.3%	6,430	1.3%
その他	18,710	19,720	5.4%	20,660	4.8%	21,060	1.9%
合 計	224,180	250,910	11.9%	264,920	5.6%	274,810	3.7%

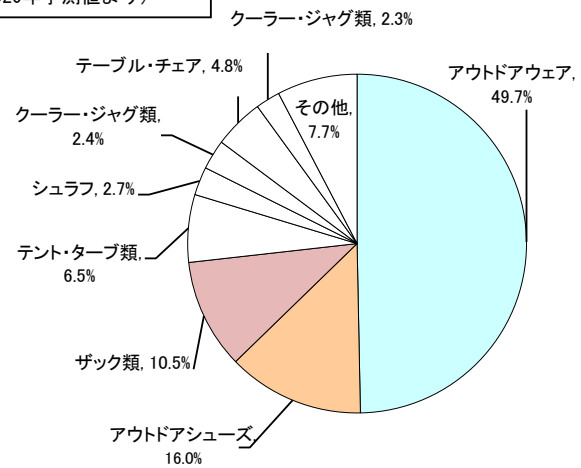
※ 当社の関連するアウトドア用品市場

ジャンル別構成比 円グラフ
(2020年予測値より)

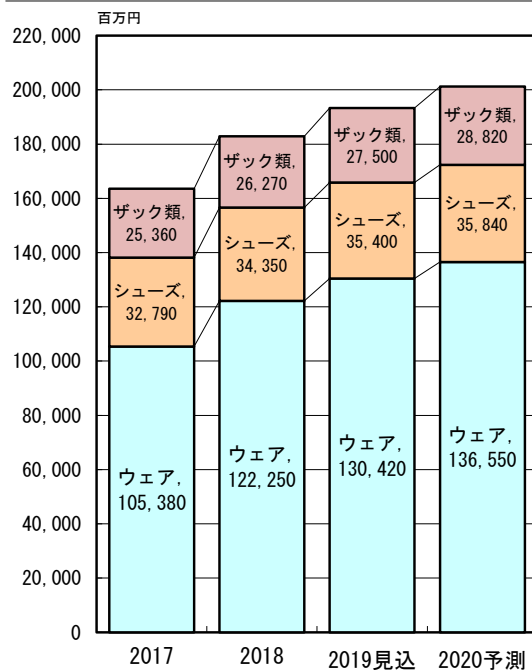
■ ジャンル別構成比 (2020年予測値より)

分 類	構成比
※アウトドアウェア	49.7%
※アウトドアシューズ	13.0%
※ザック類	10.5%
テント・タープ類	6.5%
シュラフ	2.7%
調理器具・食器類	2.8%
テーブル・チェア	4.8%
クーラー・ジャグ類	2.3%
その他	7.7%
合 計	100.0%

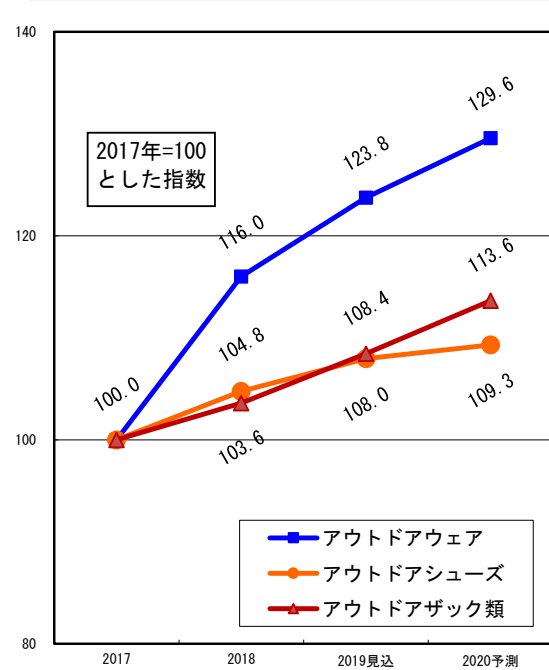
※ 当社の関連するアウトドア用品市場



当社の関連するアウトドア用品市場規模①



当社の関連するアウトドア用品市場②



出典「2020年版 スポーツ産業白書」株式会社 矢野経済研究所 2020年3月31日発行
注) 見込値・予測値については実態と異なる場合があります。